

**寒～い冬が
好きになる家**



快適で省エネ、
寒さを感じさせない
家づくり宣言。

- トイレや廊下等、
家じゅうどこにいても
暖かい家をつくります！
- 独自のシステムで超省エネ・
省コストを約束します！
- 調湿機能により高耐久性となり
家が長持ちします！
- 快適な湿度と温度で
いつもきれいな空気の家をつ
くります！

こげ建設の家づくり



**防災グッズは何を
用意すればいい？**

大規模な地震災害が発生して
ライフラインが止まった場合、家族
の命を守るためにどのようなもの
を準備しておかなければならな
いのでしょうか。

■飲料水
一人一日3リットルが目安
(飲料のみで3〜4日分)

■非常食
保存期間が長く火を通さなくても
食べられる食品(レトルト食品・イン
スタント食品・クラッカー・缶詰など)
変換可能な日用品をストック)
保存可能期間は2年から5年
のものが理想的。



発行/こげ建設(株)
八頭郡八頭町宮谷200番地2
TEL (0858) 72-0029 FAX (0858) 73-0668
E-mail: info@koge.co.jp
<http://www.koge.co.jp>

Boo Foo Woo
Vol. 63
2014.1.25 Sat

温度と湿度の
バリアフリー
家の隅々まで
ほかほか暖かい！

Fas
高気密 高断熱
ファースの家

Never give up

がんばろう日本！
つなげる想い・
つなげる希望



親子で備え

東日本大震災から約3年経過しました。被災者の
方々の経験から役立つ備えを学びましょう。

★電気ガス水道のない暮らしがたいへんだった！
すべての家電が使えず、ガス調理もできず、お風呂もトイレも困りました。日ごろから親子で防災キャンプみたいなものをしていたらよかったです。思いました。非常時に必要なものが分かっていたかなと思います。

★あわてて子どもをだっこして避難してしまっただけ！
子どもにくつを履かせていなくて失敗。途中で歩かせるわけのいけなかつ、避難所でも靴がなくて不自由な生活。

★子どもが避難所のトイレが使えず便秘！
避難所の仮設トイレは和式できれいとはいえない状態。和式トイレで用を足したことのない子どもは便秘に普段から和式トイレを使う訓練をさせておけばと反省しました。

★子どもと連絡方法を確認していなかった！
震災時勤務中で、子どもたちが学校と家のどちらにいるのかわからなくて不安が募りました。帰宅できたのは夜中で、非常時にどこで待っているようにするのか、どうやって連絡を取るのか、ルールを決めておくべきでした。

★家中にガラスの破片が飛んで子どもを下に寝かせられなかった！
食器や窓ガラスが家中に散乱していました。一部屋でいから窓に飛散防止フィルムを貼るなどして、ガラスが飛び散らない部屋を作っておけばよかったです。

どん太くんのちょっといい話



お酢の力

冬になると車のフロントガラスに氷が張ることがあります。現在のフロントガラスは複数構造になっており、事故などの衝突時にはガラスが飛散しないようになっています。このため熱いお湯を掛けると、急激な温度変化によりガラスが割れる可能性も…。裏ワザとして、前日にお酢をスプレーしておけば凍らないのだそうです。ぬるま湯を準備する手間よりは断然楽です。



うちのお父さん、新年の仕事始めに出た途端、会社から？インフルエンザA+をもらってきました。もうちょっといいものをもらってあげたいのに…。
医者の診断を受けて帰るなり即隔離。約3日間寒い寒いと電気あんかをかかえて寝ていましたが、なんとか元気になりました。日ごろから手洗・うがいは人一倍気をつけているのに…。先BTVでしてました、インフルエンザウイルスは、飛沫感染で体内に入り30分程度で増殖をはじめると。怖いですね～。